

目で見えてわかるリウマトレックスの飲み方 ～視覚を利用した印象に残る服薬指導～

一般演題 (2) ポスター
演題区分 02) 服薬指導

○竹岡真梨、鎌田計江
総合メディカル(株) そうごう薬局 井野店 そうごう薬局 高崎店

【目的】メソトレキセート(MTX)の添付文書が、週3回服用から1週間に16mgまでを1～3回に分けて服用と改訂された。これにより、患者の状況に応じた服用方法の選択、変更が可能となった。当薬局において、服用方法変更となった患者が、勘違いによりMTX8mgを連続服用する事例が発生した。再発防止策として、視覚に訴えた指導を強化することにより、誤服用を防止出来るのではないかと考え、取り組みを行なったので報告する。

【方法】視覚に訴えるための手段として、①市販の服用カレンダーの利用②薬袋の変更③写真を使用した指導を検討し、2012年4月～2013年6月に来局したMTX服用患者延べ183名に実施、次回来局時に服用状況を確認した。

【結果】市販の服用カレンダーを利用し、服用日にMTX・副作用予防薬を、休薬日に「休」と記載したカードをセットした説明用ツールを作成した。薬袋にMTX服用日を大きく表示し、休薬日が必要である旨も記載した。以上を用いた指導を、新規処方患者(53名)、用法・用量変更患者(127名)に実施したところ、1名を除き全員が正しく服用できた。この1名を含む、理解が不十分な患者(3名)に、ツールを写真に撮り配布し、自宅でも確認できるようにしたところ、全員が次回受診日まで正しく服用できた。患者からは「服用方法を勘違いしていた」「分かりやすい」等の回答を得た。

【考察】市販のカレンダーを利用し、一ヶ月間の「服用日」「休薬日」を目で見えてわかるようにしたことで、より患者の理解を深めることが出来たのではないかと考える。今回のツールは、作成も簡便であり、誤服用が発生しやすいその他の医薬品にも活用できるため、ぜひ、多くの薬局でも活用してほしいと考える。また、今後も視覚に訴えるなど、患者の印象に残る指導を実施し、誤服用がなくなるよう努力したい。